



## 2021年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年6月14日

上場会社名 株式会社クロスフォー 上場取引所 東  
 コード番号 7810 URL <https://crossfor.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土橋 秀位  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山口 毅 (TEL) 057-008-9640  
 四半期報告書提出予定日 2021年6月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年7月期第3四半期の連結業績(2020年8月1日~2021年4月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2021年7月期第3四半期	2,032	0.8	△162	—	△150	—	△157	—
2020年7月期第3四半期	2,017	△24.6	△102	—	△109	—	△78	—

(注) 包括利益 2021年7月期第3四半期 △157百万円( —%) 2020年7月期第3四半期 △78百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期第3四半期	△9.39	—
2020年7月期第3四半期	△4.72	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2021年7月期第3四半期	4,681	1,842	38.6
2020年7月期	5,201	1,976	37.3

(参考) 自己資本 2021年7月期第3四半期 1,806百万円 2020年7月期 1,940百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年7月期	—	0.00	—		
2021年7月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年7月期の連結業績予想(2020年8月1日~2021年7月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	2,511	8.0	△155	—	△159	—	△168	—	△10.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年7月期3Q	17,603,500株	2020年7月期	17,522,000株
② 期末自己株式数	2021年7月期3Q	798,081株	2020年7月期	798,081株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年7月期3Q	16,768,102株	2020年7月期3Q	16,723,919株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各種経済政策の効果やワクチン接種の開始により一時的に持ち直しの動きが見られましたが、変異株を含む感染症の再拡大などから依然として厳しい状況が続いております。一方で国外におきましても、同感染症の拡大による影響が依然として深刻なもの、早期に経済活動を再開した中国では景気が回復傾向にあるなど、国ごとにより回復スピードの濃淡が見られております。

ジュエリー業界におきましても、株高を背景に高額品の需要が堅調に推移し回復傾向にあるものの、イベント開催の動員数縮小や消費行動の自粛傾向は続き、市場環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、国内外の営業活動の抜本的な見直しにより、当第3四半期会計期間の業績は、上期に比べ回復傾向に向かい、黒字に転じることができました。具体的な活動内容としては、コロナ禍での巣ごもり需要により好調を推移している、EC（ネット通販）やテレビショッピングなどの非接触型販売チャネルを持つ取引先様とのタイアップ企画に注力してまいりました。また、ライフスタイルの多様化により拡大傾向にあるノベルティ・ギフト市場への新規開拓の実施、休眠している取引先の掘り起こしなど、新たな企画営業活動に取り組んでおります。加えて、前期末より取り組んでいる抗菌サービス「VIRUS BLOCK」や神社仏閣へ御守と「Dancing Stone」（※1）を掛け合わせた製品の提案は、拡販に向けて営業活動を進めております。一方、国外は、タイの協力工場と連携して進めている順送金型によるプレス製造での「Dancing Stone」パーツの大量生産体制は、現地への機械搬入も整い、本年5月より稼働を開始しております。この稼働により高品質・低価格の「Dancing Stone」パーツの量産が可能となり、人口大国であるインド国内市場への本格的参入、模倣品が氾濫している中国市場の適正化に向けての施策を実施して参ります。加えて、グローバル市場の開拓に向けて、いまだに世界的な渡航制限が続き展示会の通常開催が難しい中、オンライン上での営業活動の強化やバーチャル展示会への出展を実施しております。これらが連動することで、売上的好転に繋げ現状を打開して参ります。コスト面においても、営業活動のリモート化を推進することで労務費や旅費交通費などの削減に加え、各種プロモーション施策の見直しなどの経費コントロールに努めてまいりました。引き続き、収益構造の再建に向け、グループ一体で改革を進めて参ります。

こうした活動を行った結果、国内売上高は、14億47百万円となり、国外売上高は、5億85百万円となりました。

この結果、当連結会計年度における当社グループの売上高は20億32百万円（前年同四半期0.8%増）、営業損失は1億62百万円（前年同四半期は営業損失1億2百万円）、経常損失は1億50百万円（前年同四半期は経常損失1億9百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億57百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失78百万円）となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは、「ジュエリー事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

※1 「Dancing Stone」とは、当社の特許技術により宝石に穴をあけることなく、宝石を揺らすことのできる宝石のセッティング方法であります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ5億19百万円減少し、46億81百万円となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品が3億16百万円減少し、現金及び預金が6億27百万円減少、受取手形及び売掛金3億64百万円増加したこと等によるものであります。

#### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億85百万円減少し、28億39百万円となりました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定を含む）が2億50百万円減少し、短期借入金が2億40百万円減少、支払手形及び買掛金が1億15百万円増加したこと等によるものであります。

#### (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億33百万円減少し、18億42百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失1億57百万円計上したこと等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年3月16日に公表いたしました「2021年7月期 通期業績予想の修正、期末配当予想の修正(無配)及び役員報酬の一部減額等に関するお知らせ」における通期の連結業績予想から変更はありません。

#### (継続企業の前提に関する重要事象等について)

前第3四半期連結会計期間以降は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、主要取引先である小売業者が出店している百貨店や商業施設での集客数および売上の大幅な減少に伴う受注の減少、国内外の展示会や販売催事の相次ぐ延期により販売活動が大きく制限を受けるなど、厳しい事業環境が続きました。このため当該期間における売上高の著しい減少が生じており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が生じております。

しかしながら、当第3四半期連結累計期間は、前年同期の売上高に対し100.8%であり、想定どおり回復しております。また、現金及び預金を7億19百万円保有し財務基盤は安定していることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、連結財務諸表等への注記は記載しておりません。

引き続き、当該重要事象等を解消するため、以下の施策にて売上拡大と利益確保を実行してまいります。

1. 自社製品の製造工程の機械化によるコストダウン
2. 既存取引先の深耕及び新規取引先の獲得
3. 販管費等の適切なコストコントロールによる経費削減

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,347,085	719,786
受取手形及び売掛金	180,840	545,747
製品	921,925	881,320
仕掛品	115,972	259,458
原材料及び貯蔵品	924,203	608,144
その他	98,891	56,261
貸倒引当金	△397	△35,527
流動資産合計	3,588,522	3,035,191
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,014,469	984,335
土地	331,094	331,094
建設仮勘定	3,374	273
その他(純額)	35,235	123,476
有形固定資産合計	1,384,174	1,439,179
無形固定資産	57,918	57,712
投資その他の資産		
長期貸付金	6,560	9,273
その他	259,374	142,398
貸倒引当金	△95,297	△1,868
投資その他の資産合計	170,636	149,802
固定資産合計	1,612,729	1,646,694
資産合計	5,201,251	4,681,886

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,077	160,719
短期借入金	1,000,400	760,000
1年内返済予定の長期借入金	478,365	425,175
未払法人税等	5,351	4,234
その他	47,527	38,445
流動負債合計	1,576,722	1,388,576
固定負債		
長期借入金	1,647,213	1,449,509
その他	1,038	1,241
固定負債合計	1,648,251	1,450,751
負債合計	3,224,973	2,839,328
純資産の部		
株主資本		
資本金	683,400	695,136
資本剰余金	777,066	788,802
利益剰余金	504,217	346,734
自己株式	△20,378	△20,378
株主資本合計	1,944,306	1,810,295
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△36	4
為替換算調整勘定	△3,891	△3,594
その他の包括利益累計額合計	△3,927	△3,589
新株予約権	35,899	35,853
純資産合計	1,976,277	1,842,558
負債純資産合計	5,201,251	4,681,886

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年8月1日 至2020年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年8月1日 至2021年4月30日)
売上高	2,017,601	2,032,764
売上原価	1,179,518	1,356,644
売上総利益	838,082	676,120
販売費及び一般管理費	940,259	838,985
営業損失(△)	△102,176	△162,865
営業外収益		
為替差益	—	11,130
受取賃貸料	4,386	4,118
補助金収入	4,877	17,674
その他	1,891	1,660
営業外収益合計	11,155	34,583
営業外費用		
支払利息	9,154	12,855
為替差損	5,289	—
貸倒引当金繰入額	△58	3,763
コミットメントフィー	3,044	3,039
その他	727	2,435
営業外費用合計	18,157	22,094
経常損失(△)	△109,177	△150,375
特別利益		
新株予約権戻入益	—	46
固定資産売却益	306	—
特別利益合計	306	46
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	—	2,973
特別損失合計	0	2,973
税金等調整前四半期純損失(△)	△108,871	△153,303
法人税、住民税及び事業税	3,722	2,502
法人税等調整額	△33,638	1,677
法人税等合計	△29,916	4,180
四半期純損失(△)	△78,954	△157,483
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△78,954	△157,483

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年4月30日)
四半期純損失(△)	△78,954	△157,483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	41
為替換算調整勘定	24	296
その他の包括利益合計	13	338
四半期包括利益	△78,941	△157,145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△78,941	△157,145
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループでは、たな卸資産の評価基準に基づき、前連結会計年度に計上したたな卸資産の簿価切下額の戻入れに関して洗替え法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より切放し法に変更しております。

この変更は、在庫管理システムの見直しを契機に、経営環境の変化、たな卸資産残高の水準等を考慮し、適正なたな卸資産評価の観点からたな卸資産の評価方法について再度検討したことによるものです。

なお、過去の連結会計年度について、切放し法による計算を行うことが実務上不可能であり、遡及適用した場合の累積的影響額を算定することができないため、前連結会計年度末の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高として計算しております。

この変更により、従来の方と比べて、当第3四半期連結会計年度末のたな卸資産において、製品が12,998千円、原材料及び貯蔵品が10,697千円減少しており、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は、それぞれ23,695千円増加しております。

また、当第3四半期連結累計期間において、1株当たり純資産金額が1円41銭減少し、1株当たり四半期純損失金額が1円41銭増加しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書において、追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、「ジュエリー事業」のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。